

私たち農林中央金庫の仕事は、
ある日突然、世界を大きく変えるようなものではない。

なぜなら私たちが向き合う農林水産業とは、
自然を相手にし、一朝一夕に変化や成果を生み出すものではないから。
モノをつくるのではなく、「いのち」を生み、育て、繋いでいくものだから。

だからこそ私たちは、世界の金融市場で安定した利益をあげるという挑戦を続け、
規模の大小を問わず、地域と農林水産業を守る人々に尽くす金融機関として生きてきた。
そうして、90余年の歴史を重ねてきた。

しかしこれからは、それだけでは十分とはいえない。
農林水産業が、時代の変化をとらえ発展し続ける産業になるためには、
私たちは、これまで以上の役割を果たさなければならない。

金融の知見を活かしながら、いままでの機能や範囲を超えた新たな貢献へ。
現場の課題の解決に、身をもって真摯に挑んでいく。
生産者はもちろん加工や流通、そして消費者と向き合い、その声に応じていく。

農林水産業から生まれる「いのち」は、
その先に連なるたくさんの「いのち」の営みに繋がっている。

いまこそ、私たち一人ひとりが、持てるすべてを発揮する時。
未来へと受け継がれるこの「いのち」の連鎖を、
より豊かで確かなものにするために。

持てるすべてを「いのち」に向けて。

Dedicated to sustaining all life.

農林中央金庫

目次

PART 1	加速する変化 加速する挑戦	6
	磯田道史 <small>歴史家・国際日本文化 研究センター准教授</small> × 奥和登 <small>農林中央金庫 代表理事 理事長</small> 非連続な時代を考え、語り、乗り越える	8
	農林水産業とのつながりを大切に 農林中金の強みをあらためて見つめよう 江戸龍太郎 <small>農林中央金庫監事/エスビー食品元社長</small>	14
PART 2	農林中央金庫が目指していくもの	18
	農林中央金庫の価値創造モデル	20
	私たちの人となり	22
	中期経営計画	24
	デジタルイノベーションとサステナブル経営	26
PART 3	価値を生み出す3つの事業	28
	食農ビジネス	30
	リテールビジネス	38
	投資ビジネス	42
	企業データ	47